

日本湿地学会 2015年度(第7回)大会

Japan Wetlands Society

会期： 2015年9月5日(土)、6日(日)

会場： 上智大学 四ツ谷キャンパス 3号館123号室

プログラム-Program-

9月5日(土)

- 8:00-8:30 開場・受付開始
- 8:45-8:50 開会挨拶
- 8:50-12:00 口頭研究発表(報告10分、準備・質疑応答5分)
- 12:00-12:30 総会
- 12:30-13:30 昼食/ポスターセッション(13:00-13:30)
- 13:30-14:00 ゲストスピーチ

- 14:00-17:00 特別シンポジウム
『湿地研究への多様なアプローチ～海外の経験に学ぶ～』
- 14:00-16:00 第一部 基調講演
- 16:20-17:00 第二部 パネルディスカッション
- 17:30-19:30 懇親会

9月6日(日)

- 13:30 現地集合・受付
- 13:50-15:10 エクスカーションツアー(日本橋川・神田川クルーズ)
現地解散

ご挨拶 -Address-

日本湿地学会 2015 年度(第 7 回)大会は、9 月 5 日、上智大学四ツ谷キャンパスを会場として開催致します。全国から多くの学会員の方々に参加していただき、学術の研鑽を積むとともに、会員相互の交流・情報交換の場となることを期待しています。大会行事としましては、学術講演会、特別シンポジウム、パネルディスカッションのほか、ポスター発表及びエキスカージョンが行われます。

今年度の 1 つ特別企画は、海外から研究者をお招きし、海外の乾燥地域と湿潤地域において、それぞれの水事情について、ご講演を頂きます。また、全体のパネルディスカッションでは、ローカルおよびグローバルな視点を用いて、これからの湿地研究・管理のあり方について討議していただきます。

上智大学は、1913 年、ドイツ人、フランス人、イギリス人の 3 人のイエズス会神父によって設立されました。教育の精神として“Men and Women for Others, with Others”を掲げています。このような国際性と奉仕精神が培ったキャンパスにおいて、参加者全員が人類の未来と環境を見据えた“知水”の役割とは何かを考え、日本湿地学会が担う新たな使命を認識する実り多い大会になることを祈念し、挨拶といたします。

なお、本大会運用においては、形式よりも中身重視、また環境に優しいという方針で、要旨集をリサイクルペーパーで手作りさせていただきました。

第 7 回日本湿地学会大会

実行委員長：黄光偉（上智大学）

実行委員：安藤元一（ヤマザキ学園大学）

名執芳博（日本国際湿地保全連合）

磯崎博司（上智大学）

笹川孝一（法政大学）

事務局長：鈴木詩衣菜（上智大学）

口頭研究発表 -Oral Presentation-

8:50-12:00

- 08:50-09:05 **日本のラムサール登録湿地における戦後 60 年間の環境変化**
*安藤元一¹⁾・松井友希²⁾・古矢亜架音¹⁾
(¹⁾ヤマザキ学園大学・²⁾東京農業大学)
- 09:05-09:20 **国指定谷津鳥獣保護区の保全に向けた取り組み**
*川口究¹⁾, 早坂裕幸¹⁾, 池田宗平¹⁾, 荒牧まりさ²⁾, 永野雄大³⁾, 名執芳博⁴⁾
(¹⁾いであ(株), ²⁾環境省関東地方環境事務所,
³⁾環境省関東地方環境事務所成田自然保護官事務所, ⁴⁾日本国際湿地保全連合)
- 09:20-09:35 **湿地保全における環境教育の意義と効果的連携に向けた課題—コウノトリ生息地保全水田ビオトープ維持管理を事例に—**
田開寛太郎 (東京農工大学大学院)
- 09:35-09:50 **湿原のシカは一年中湿原に生息しているのか?—釧路湿原における GPS 首輪装着個体の追跡—**
*日野貴文¹⁾, 吉田遼人¹⁾, 佐藤温貴¹⁾, 五十嵐守¹⁾, 吉田剛司¹⁾, 村井拓成²⁾, 立木靖之²⁾, 赤松里香²⁾
(¹⁾酪農学園大学, ²⁾NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)
- 09:50-10:05 **東海丘陵湧水湿地における変遷の一事例 - 大森湿地群**
河合和幸 (株式会社 テイコク)
- 10:05-10:20 **湿地保全のための発展的解釈**
鈴木詩衣菜 (上智大学大学院)
- 10:20-10:30 **休憩 -break-**
- 10:30-10:45 **排水路敷設による高層湿原の劣化評価**
*高田雅之¹⁾, 三島啓雄²⁾, 島村崇志³⁾
(¹⁾法政大学, ²⁾国立環境研究所, ³⁾北海道立総合研究機構)

- 10:45-11:00 **インドネシア「泥炭湿地林周辺地域における火災予防のためのコミュニティ能力強化プロジェクト」の成果と教訓(事例報告)**
新井雄喜 (国際協力機構)
- 11:00-11:15 **湿地保全活動の展開の ESD としての意義と可能性～兵庫県豊岡市におけるコウノトリ野生復帰事業を事例に～**
*石山雄貴¹⁾, 黄衛鋒¹⁾, 秦範子¹⁾, 丸谷聡子²⁾, 稲木瑞来²⁾
(¹⁾東京農工大学大学院, ²⁾同志社大学大学院)
- 11:15-11:30 **東海地方における湧水湿地の分布と特徴(中間報告)**
*富田啓介¹⁾, 上杉毅²⁾, 澤田與之³⁾, 籠橋まゆみ⁴⁾, 早川しょうこ³⁾, 大畑孝二⁵⁾, 小玉公明⁶⁾, 大羽康利⁷⁾, 山田祐嗣⁸⁾, 鬼頭弘⁹⁾, 鈴木勝己¹⁰⁾, 楯千江子³⁾, *河合和幸⁴⁾, 高田雅之¹⁾
(¹⁾法政大学, ²⁾赤津自然観察会, ³⁾シデコブシと自然が好き会, ⁴⁾可児ネイチャークラブ, ⁵⁾(公財)日本野鳥の会, ⁶⁾おかざき湿地保護の会, ⁷⁾渥美自然の会, ⁸⁾まるっと環境クラブ, ⁹⁾日進岩藤川自然観察会, ¹⁰⁾豊田植物友の会)
- 11:30-11:45 **ラムサール条約締約国会議における CEPA の展開と capacity building について**
佐々木美貴 (日本国際湿地保全連合)
- 11:45-12:00 **『湿地の文化と技術 東アジア編』の成果と今後の課題について**
*笹川孝一 (法政大学)

総会 -General Meeting-

12:00-12:30

日本湿地学会総会

昼食 -Lunch-

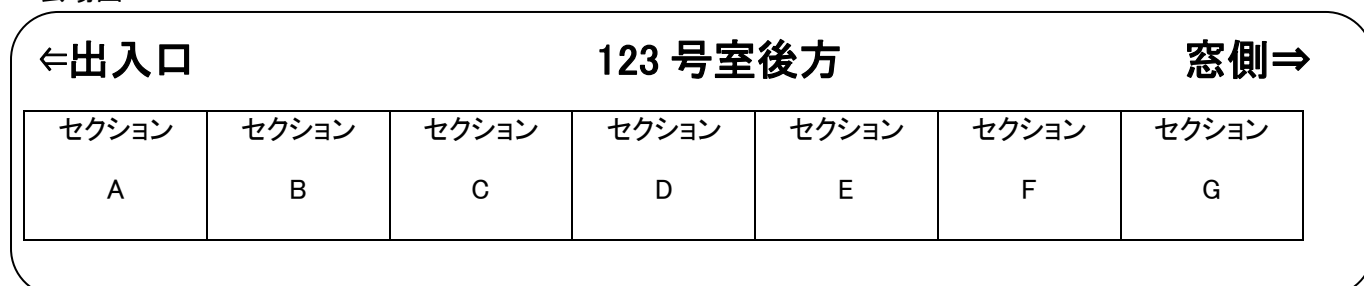
12:00-13:30

本誌裏面をご参照ください

ポスター発表 -Poster Presentation-

13:00-13:30

会場図



セクション A 『中国北東部に位置する大伙房湿地の水質の実態に関する調査研究』
康馨藝（上智大学）

セクション B 『ラムサール条約登録湿地関係市町村会議について』
安藤美香（ラムサール条約登録湿地関係市町村），柴田美貴（同）

セクション C 『カラカネイトトンボの生息地・篠路福移湿原再生の取り組み』
*石橋佳明¹⁾，*新庄久尚²⁾ *古村えり子³⁾，綿路昌史¹⁾，木村浩二⁴⁾
(¹⁾ NPO 法人カラカネイトトンボを守る会，²⁾ 株式会社エコテック，³⁾ 北海道教育大学
札幌校，⁴⁾ 雪印種苗株式会社)

セクション D 『霧多布湿原におけるエゾシカの生息状況と行動』
*佐藤瑞奈¹⁾，漆原悟²⁾，吉田剛司¹⁾
(¹⁾ 酪農学園大院 野生動物保護管理学，²⁾ 酪農学園大学)

セクション E 『指標種を用いた湿原植生に及ぼすニホンジカ影響評価手法の検討』
*稲富佳洋¹⁾，日野貴文²⁾，島村崇志¹⁾，長雄一¹⁾，吉田剛司²⁾，宇野裕之¹⁾
(¹⁾ 北海道立総合研究機構環境化学研究センター，²⁾ 酪農学園大学)

セクション F 『Sophia University × Kushiro Wetlands:A Ten-Day Field-Based Course from Students' Perspective』
*落合ゆり（上智大学），管由美佳（同）

セクション G 『流水型ダム貯水池を活用して創出された湿地環境の氾濫原依存種の生息場としての評価ー鹿児島県西之谷ダムを対象としてー』
*田辺篤志¹⁾，皆川朋子¹⁾，中島淳²⁾、島谷幸宏³⁾
(¹⁾ 熊本大学大学院，²⁾ 福岡県保健環境研究所，³⁾ 九州大学工学研究院環境社会部門)

ゲストスピーチ *-Guest Speech-*

13:30 – 14:00

13:30-13:45 A Planetary Boundary Based Framework for Regional Sustainable Development Assessment in Heihe River Basin

*Heng Ti Teah (東京大学), 秋山知宏 (同)

13:45-14:00 Conflicts between biodiversity conservation and economic development -A case of Phu-My Lepironia wetland conservation project

Luong Thien Tam (ベトナム国立科学大学)

特別シンポジウム *-Special Symposium-*

14:00 – 17:00

14:00~16:00

特別シンポジウム

『湿地研究への多様なアプローチ～海外の経験に学ぶ～』

-Special Symposium-

“Diverse perspectives and approaches for researching diverse wetlands

-Learning from abroad-”

■ 基調講演 1 ■ (14:00-15:00)

「内陸河川流域の生態系復元に向けて、黒河流域における水－生態系－経済の統合的研究」

中国科学院
寒区旱区環境与工程研究所
李 新 教授

■ 基調講演 2 ■ (15:00-16:00)

「ブルーワールドにおけるグリーン経済
-東南アジアにおける湿地の持続可能な管理の実施-」

アジア工科大学院
湿地系アクア・アウトリーチ・コーディネーター
Theo Ebbers 博士

-----****-----****-----****-----****-----

■ *Keynote Lecture 1* ■ (14:00-15:00)

“Integrated study of the water-ecosystem-economy in the Heihe River Basin: Towards ecosystem restoration in an inland river basin.”

Professor. Xin Li
Cold and Arid Regions Environmental and Engineering Research Institute (CAREERI)
Chinese Academy of Sciences (CAS)

■ *Keynote Lecture 2* ■ (15:00-16:00)

“Green Economy in a Blue World - Implementing sustainable development in Wetlands of Southeast Asia”

Dr. Theo Ebbers
Wetlands Alliance, AIT Aqua Outreach Coordinator
Asian Institute of Technology

16:20~17:00

パネルディスカッション - *Panel Discussion* -

■ パネリスト ■

李新 (中国科学院 / 水文・水資源学)
テオ エバーズ (アジア工科大学院 / 社会生態学)
新井雄喜 (国際協力機構 / 環境社会学)
保屋野初子 (日本自然保護協会 / 環境ジャーナリズム学)
鈴木詩衣菜 (上智大学大学院 / 国際環境法学)

■ ファシリテーター ■

黄光偉 (上智大学大学院 / 流域環境学)

※敬称略

-----****-----****-----****-----****-----

■ *Panelist* ■

Xin Li (Chinese Academy of Sciences / Hydrology and Water Resources)
Theo Ebbers (Asian Institute of Technology / Social Ecology)
Yuki Arai (Japan International Cooperation Agency / Environmental Sociology)
Hatsuko Hoyano (The Nature Conservation Society of Japan / Environmental Journalism)
Shiina Suzuki (Sophia University / International Environmental Law)

■ *Facilitator* ■

Guangwei Huang (Sophia University / Watershed Environment)

※honorific prefixes are omitted

懇親会 -Convivial Party-

17:30~19:30

会場：スクワール麹町 7階レストラン『サブニール』

開始：17:30-19:00

アクセス：以下、ご参照ください。

※当日ご参加の場合は、大会事務局にご相談ください。



JR 四ツ谷駅(麹町口) 正面
地下鉄丸ノ内線・南北線
四ツ谷駅より徒歩1分



〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 スクワール麹町

周辺地図-Map of Surrounding Areas-



1. しんみち通り沿い 各店舗一部ランチ営業あり(メキシコ料理、ラーメン、カフェなど)
2. イタリアン料理 サルヴァトーレ・クオモ 3.カフェ タリーズコーヒー
4. カフェ サンマルクカフェ 5.中華料理 皇記

